

AI技術により、自動走行する車やバスが走り、交通量によって信号機がはたらいで渋滞もなく、交通事故もない安心して安全な一宮市になってほしい。

1人1台のタブレットで授業が行われたり、街中がWiFi環境でつながったりする情報技術の最先端都市になってほしい。

犯罪がなく、みんなが安心して暮らせて、仕事ができる街になってほしい。

いろいろな都市や国とグローバルにつながる街であってほしい。

地震や異常気象に見舞われても負けない一宮市になってほしい。

芝生に寝転がって昼寝ができるような、のんびりできる場所がいくつもある緑豊かな一宮市であってほしい。

議会だより



いちさんぱち

2020年2月号

平成30年度の決算審査	1
常任委員会	2
一般質問	3
議案・請願審議結果	9
行政視察受入状況	10
Doors トピックス	裏表紙

大和中学校

若い世代に政治について関心をもってもらうため、表紙に中学校を取り上げました。今回は校庭をグリーンサンドにする工事を行う「大和中学校」です。

「自分の母校や、お子さんが通う中学校が載っている」と、幅広い世代にも、議会だよりに関心を持っていただけることを願っています。

校長メッセージ

「笑顔 輝け 大中」のもと、心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた、思いやりのあるたくましい生徒の育成を目指しています。(校長 柴田 賢治)

12月定例会の概要

12月定例会は、12月3日から12月24日まで22日間の会期で行われました。

- 12月3日の開会日には、閉会中の継続審査としていました認定議案10件について、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、いずれも認定されました。その後、一般会計の補正予算案など27議案と1件の報告が市長から提出されました。
- 12月9日、10日、11日、12日の4日間に23人の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。12日には開会日に提出された議案の質疑を行い、その後、議案を常任委員会に付託しました。
- 2月13日～18日までに開催した総務・福祉健康・経済教育・建設水道の各常任委員会において付託された各議案を審査しました。
- 12月24日の閉会日には、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、討論を経て、市長から提出された27議案を原案どおり可決しました。また、継続審査となっている3件の請願書については、引き続き継続審査としました。その後、市長から同意議案2件と諮問議案3件が追加で提出され、全ての議案に同意しました。

議案等の内容については、広報一宮6ページ及び一宮市のウェブサイト(ホームページ)をご覧ください。

ID 1019392(条例関係)

ID 1028314(令和元年度(平成31年度)予算)

各記事に掲載の **ID** (7桁の数字) を、市ウェブサイトの「ページID検索」に入力すると、該当記事の情報がダイレクトに表示されます。

ID 1000010 **表示**

平成30年度の決算審査

9月定例会で閉会中の継続審査となった決算認定議案を10月8日から23日にかけて4つの常任委員会で審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録はウェブサイトに掲載しています。

ID 1022724

総務委員会

男女共同参画推進事業について

Q 愛知県男女共同参画人材育成セミナーへ市民1人を派遣したとのことだが、一宮市として、この事業に対してどのような費用負担があったのか。また、セミナーを受講した方は、その後どのような活動をしているのか。

A 愛知県が講師やプログラム作成の費用を負担するため、本市としては、参加者の8回分の旅費を負担しました。また、セミナー修了生については、男女共同参画の関係セミナーの企画に携わるとともに、さまざまな事業に協力していただいています。

一宮市自主防災リーダー研修について

Q この研修の出席者の年齢層が高いように思われるが、若い方の参加を促すためにどのような取り組みを行っているのか。

A 愛知県が主催している高校生防災フォーラムに職員も出席して、本市で開催される自主防災リーダー研修への参加を呼びかける取り組みを行っています。

経済教育委員会

農産対策費におけるカラス対策について

意見 カラスの捕獲数が年々減少しているが、カラスによる街中のゴミ集積所への被害及び糞による害が依然として非常に多く発生しているので、関係当局が連携し、さらなる対策に取り組んでほしいとの意見があった。

一宮競輪場の場外車券売場について

Q 一宮競輪場の場外車券売場は平成31年3月末をもって終了し、4月以降は民間事業者による場外車券売場がオープンしているが、一宮市とはどのような契約になっているのか。

A 本市と民間事業者との間には土地の賃貸借契約が結ばれており、その賃料に上乗せする形で、売り上げの一定割合が市の収入となる契約となっています。

意見 民間の場外車券売場と競輪場は近接しているため、競輪場の解体と新しい商業施設の建設において、利用者の出入りに影響がないよう努めてほしいとの意見があった。

福祉健康委員会

病院事業会計について

Q 一宮市立市民病院は3年続けて外来、入院患者数が減少し、病院収益も3年連続で純損失を計上しているが、今後どのように経営改善していく方針であるのか。

A 新規の患者数を増やすことで増収を図り、支出については材料費や委託料の見直しを行うなど、経営改善に努めます。

病児保育について

Q インフルエンザ等で他人への感染が危惧される児童も、病児保育に預けることは可能なのか。

A 本事業に使用する部屋は2室あり、病状に応じて部屋を使い分けるため、受け入れは可能です。

意見 病児保育の利用者も年々増えており、保護者にはありがたい制度であるが、実施している保育園の数や、受け入れ可能な定員数が少ないので、実施する保育園を増やすことを検討してほしいとの意見があった。

建設水道委員会

木曾川伏流水の減少について

Q 平成30年度は、木曾川の伏流水取水量が減少し、不足分を県水にて補ったとあるが、1日当たりどの程度少なくなったのか。

A 約2,000立方メートル少なくなっています。

準用河川川崎川改良事業について

Q 工事の区間が非常に短いですが、効果はでているのか。また、工事区間が短い理由は何か。

A 改修済みの区間では浸水も発生しておらず、十分効果を発揮しています。また、工事区間については、河川のため濁水期しか工事ができません。加えて、市民生活に影響がないよう配慮して整備しているためです。

民間木造住宅解体補助事業について

Q 予算に対し、決算額が増えているが、これについてどう考えているか。

A リフォームを兼ねた耐震改修よりも住宅の新築を希望する方が多く、解体に対する補助が増加傾向にあると分析しています。

常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

物品売払収入について

意見 他の自治体において、個人情報を含む行政文書の記録されたハードディスクが、契約している会社によって適切にデータの消去やディスクの廃棄がされず、外部に持ち出される事例が発生した。廃棄する機器も含めた情報の管理体制の構築について、しっかりと考えてほしいとの意見があった。



一宮市手数料条例等の一部改正について

Q 今回の条例改正により手数料や使用料全体での令和2年度の歳入への影響額見込みはどれくらいか。

A 現在は予算編成作業中ですが、手数料としては、各種手数料など合計で1億円を超える額を、施設使用料に関しては約400万円を見込んでいます。

経済教育委員会

リサイクルセンターの修理と不燃ごみについて

Q 11月13日の火災で被害を受けたリサイクルセンターの修理にはどれほどの期間がかかるのか。また、その費用はどの程度かかるのか。

A リサイクルセンターの建設会社からは、ベルトコンベヤーの製作に7カ月、取り付けに3カ月が最低限必要と聞いています。また、修理費用については、業者からの詳細な見積りが出ておらず、金額の提示はまだ受けていません。

Q 収集した不燃ごみは、現在環境センターの敷地に仮置きしていると聞いたが、いつまでも置いておけるものではない。今後の処置をどのように考えているのか。

A 現在、収集した不燃ごみの一部をあま市にある処理施設に依頼しています。しかし、これだけでは本市の不燃ごみ全量は処理しきれず、破砕減量しながら仮置きしています。なお、廃棄処分を急がない不燃ごみや粗大ごみについては、可能な範囲でリサイクルセンターの復旧まで排出をご遠慮いただくよう、町内の回覧板などでお知らせしました。

福祉健康委員会

がん検診について

Q がん検診の委託料のうち、子宮頸がん検診と乳がん検診は増額補正であり、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診が減額補正となっているが、その理由はなにか。

A 予算を計上する際に決算やその年の状況を加味し、不足がでないように算定しましたが、女性特有のがん検診についてはメディアの影響で受診者が増加したものと考えます。また、その他のがん検診は、今年度の状況から受診者が減少すると判断したためです。

放課後児童クラブの利用料引き上げについて

意見 少子化対策を進め、子育てしやすい一宮市にしていくという観点から、放課後児童クラブの利用料の引き上げについては認められず、本議案には反対であるとの意見があった。

意見 利用料を引き上げることは安定的な運営のためにやむをえないと考えるが、令和2年4月からの引き上げとなると利用者に影響が及ぶため、速やかに周知してほしいとの意見があった。

建設水道委員会

準用河川千間堀川改良事業について

Q 事業費の減額によりどの程度工事に影響はあるのか。

A 当初の予定より工事延長で8メートル短い発注になりましたが、新工法の採用により単価が下がり、目標の60メートルを施工できることになったため影響はありません。

下水取付管布設工事費について

Q 住宅から下水道本管への接続工事費が増額となっているが、その要因は何か。

A 早期接続を促すために、公費負担の基準に期限を設けた結果、見込みより申込み件数が増加したことによるものです。

一宮市森林環境譲与税基金について

Q 基金の活用について具体的に考えていることはあるか。

A 国産材を使った木材利用や、森林啓発の目的のために使用することを考えています。

一般質問

12月定例会では23人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

12月9日(月)

- ・八木 丈之 議員……………3P
- ・渡部 晃久 議員……………3P
- ・高橋 一 議員……………3P
- ・中村かずひと 議員……………4P
- ・岡本 将嗣 議員……………4P
- ・柴田 雄二 議員……………4P

12月10日(火)

- ・森 ひとみ 議員……………4P
- ・本山 廣次 議員……………5P
- ・小林けいめい 議員……………5P
- ・島津 秀典 議員……………5P
- ・竹山 聡 議員……………5P
- ・宇山 祥子 議員……………6P

12月11日(水)

- ・井上 文男 議員……………6P
- ・西脇 保廣 議員……………6P
- ・河村 弘保 議員……………6P
- ・尾関 哲 議員……………7P
- ・水谷千恵子 議員……………7P
- ・市川 智明 議員……………7P

12月12日(木)

- ・平松 邦江 議員……………7P
- ・鶴飼 和司 議員……………8P
- ・後藤美由紀 議員……………8P
- ・彦坂 和子 議員……………8P
- ・伊藤 裕通 議員……………8P

令和会
八木 丈之 議員



玉堂記念木曾川図書館について

Q 現在、玉堂記念展示室では、収蔵庫の空調設備の故障により複製品が展示されているが、これを修繕すれば本物の作品の展示が可能か。

A 記念展示室内の空調設備も不安定な状態であり、収蔵庫と一体での取替工事が必要であること、作品保全のため、記念展示室内の照明の蛍光灯からLEDへの取り替えが必要であること、日本画は保全のため展示を年間40日以内とする必要があり、45点の作品では年間を通じた展示ができないこと、作品の取り扱いや解説等のため、学芸員の常駐が必要であること、という課題があります。

題があります。

Q 空調設備の整備、照明のLED化、学芸員の常駐化等に要する費用は、どのくらいか、また市として対応できるものか。

A 概算で数千万円を見込み、市の予算のみでの対応は困難と考えます。

Q 同規模他市より多い民生費を他市なりに抑制すれば、いろいろな施設の修繕に財源が回るが、抑制の手立はあるか。

A 扶助の対象者数・世帯数を減らすことは困難ですが、今まで以上に適正な給付を心掛け、民生費の増加を抑制していきたいと考えます。

令和会
渡部 晃久 議員



コンパクトシティと地域公共交通

Q 人が住むからバスを走らせる、から、バスを走らせるから人が住む、という考え方への転換が重要である。一宮駅周辺の都心居住区域を循環するバス路線を設けては。

A 気軽に外出が可能になるうかと思いますが、バス事業者の運転手不足等、現時点では困難であると考えております。

Q i-バスの運転間隔を調整し、カバレッジを拡充する方策案は検討できないか。

A 現時点では難しいと考えますが、将来の公共交通はどうあるべきなのか、まちづくり施策とも連携を図りながら研究してまいりたいと考えております。

東京五輪による行事等の影響について

Q オリパラ開催による影響が気になる。次回の七夕まつり、7月16日～19日に変更することになった理由を確認したい。

A 「オリパラ」「七夕」共に盛り上げ、どちらも楽しんでいただくために、5月の協進会総会で会期前倒しが決定しました。

Q 教育関係の催事に影響はないのか。

A 現時点では、影響は無い見込みです。

新緑風会
高橋 一 議員



地域の防災訓練について

Q 初期消火や救命法中心の連区防災訓練を、次なる段階に見直す必要はないか。

A 初期消火訓練等の継続も大切で、より実践的な訓練も重要です。

フィルムコミッションについて

Q 映画やドラマのロケ地として積極的に手を上げることが大切だと思うが。

A 実際に何本かロケ地にもなっており、今後も積極的にアピールしてまいります。

都市計画道路について

Q 都市計画道路における、未着手の路

線の見直しについてお尋ねする。

A 愛知県の見直し方針を参考に、一宮市でも見直し作業を進めています。

尾西プールについて

Q 休場中の尾西プールを福祉プールとして再開できないか。

A 富田山公園再整備計画の中で関係部署と検討してまいります。

スケート場について

Q 五輪選手も出ているスケート場の再整備が必要だと考えるが。

A 慎重に検討してまいります。

新緑風会
中村かずひと 議員



介護予防と骨粗しょう症対策について

Q 介護予防対策を充実させるため、市の取り組み方針についてお尋ねする。

A 介護保険サービス受給者の個別事例検討会の回数を増やします。ケアプランの質を高めるため、藤田医科大学の理学療法士から助言を受け、介護予防や重度化防止となるケアプランの作成を目指します。

Q 転倒による骨折を回避するため、レセプトデータを使って、骨粗しょう症治療中断者を抽出し、保健指導・受診勧奨をすることについてお尋ねする。

A 新たな市単独事業は、すぐに実施できる状況ではございませんので、今後の研

究課題とします。

子育て支援について

Q 離婚により母子・父子家庭となった子どもへの養育費途絶対策の実施についてお尋ねする。

A 国の養育費確保の動きもあるので、これを見守りながら研究していきます。

Q 多胎児世帯の育児支援を拡充についてお尋ねする。

A 策定中の第2期子ども・子育て支援事業計画に多胎児世帯の支援の観点も取り入れます。今後、多胎児世帯が安心して子育てできる環境づくりに努めていきます。

令和会
岡本 将嗣 議員



銀座通公共駐車場の活用と駅周辺の活性化について

Q 老朽化が進んでいる銀座通公共駐車場の耐震診断の結果、耐震性能が不足の場合、駐車場事業はどうするのか。

A 耐震工事についての概算見積の結果を見て判断します。

Q 地下駐車場も含め駅から銀座通へのデッキ（高架の歩道）の整備を中長期的に出来ないか。

A 駅構内及び駅前ビルまで含めた大規模改修とセットとなるため、設置は難しいと考えます。

災害時の電源確保について

Q 災害時に備蓄資機材で、電源を確保できるか。

A ガソリンを燃料とする発電機2台と燃料のガソリン缶を備蓄しているので、最低限の電源は確保しています。

Q 電気自動車の活用など災害時の電源確保のために、何か新しい施策はあるか。

A 電気自動車を電源として活用するため、パワーコンディショナーという接続機器の利用を検討しています。

その他の質問事項

・中心市街地のカラス対策について

公明党
柴田 雄一 議員



地域福祉について

Q 地域福祉をどのように考えるか。

A 地域福祉とは地域の助け合いにより、子供から高齢者まで、障害の有無に関わらず、全ての地域住民が生き生きと暮らせる地域社会を形成することを目的としており、そのために、地域住民・福祉関係者・行政機関が連携し、地域の生活課題の把握及び解決を図る必要があると認識しています。

Q 中核市移行基本計画では、一宮市ならではの施策として「福祉総合相談窓口の設置」があるが、どのようなもので、その方向性はどうか。

A 介護、障害、引きこもり、貧困等の

家庭問題に対し、縦割り対応を見直し、一括で相談に応じる「断らない相談窓口」の体制整備です。気軽に相談でき、複合的な課題解決を図るため支援窓口を設置する予定です。

Q 地域福祉計画または地域福祉ビジョンを策定し、豊中市のようにコミュニティ・ソーシャル・ワーカーの導入を検討されてはいかがか。

A 地域福祉計画の策定については、関係部と協議し、研究していきます。コミュニティ・ソーシャル・ワーカーについては、先進市である豊中市を参考に社会福祉協議会とともに研究していきます。

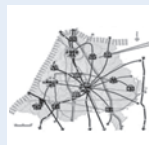
真風会
森 ひとみ 議員



一宮市都市計画マスタープラン・立地適正化計画について

Q 市街化調整区域における地域の活性化の為に、たとえば道の駅といった施設を誘致できないか。

A インターチェンジ周辺においては地域の振興に資する施設を誘致する為の施策等を検討していきます。



農業就業人口の減少と高齢化について

Q 愛知県農地中間管理機構について教えてほしい。

A 地域内に分散した農地を整理する為、

貸したい農家から農地を借り受けまとまりのある形にして担い手となる農家へ貸し付けを行っている。

Q 耕作放棄地に対する市の考え方、市民への対応をどう考えるのか。

A 優良農地を少しでも保全して次世代に継承していけるよう地域の農業振興を図っていきます。

一宮駅周辺の開発について

Q 積極的な取組として民間デベロッパーの活用、委託等の考えはあるか。

A 地域調査や関係者間の調整等を行うコーディネート業務委託を検討しています。

本山 令和会

廣次 議員



地域における移動手段について

Q 地域住民の方がボランティア輸送を行う場合、こういった実施内容であれば可能となるのか。

A 利用者から料金の負担を求めず、かつ、無償のボランティアドライバーによる輸送であれば、道路運送法に基づく許可や登録無しで実施できます。無償運送といえども、実際の運行に要したガソリン代、道路通行料及び、駐車場料金を受け取ることもできます。

Q 「移動支援サービス専用自動車保険」等の導入や、活用はできないか。

A 今後、活用を研究してまいります。

尾州ブランドについて

Q 尾州ブランドをPRするためにどのような事業を展開しているか。

A 令和元年度は、尾州ブランド発信事業で東京都内の百貨店の催事期間に、市長や有名俳優を起用したトークショーやPR展示を開催しました。令和2年2月には一宮総合体育館にて、総合展「THE尾州」を開催します。

Q 繊維産業を担う若手人材を育成するためにどのような取り組みをしているか。

A FDCにおいて「ものづくりリレー」「翔工房」「尾州インパナ塾」を実施しております。

小林 新緑風会

けいめい 議員



発達障害のある子どもたちへの支援について

Q 近年、ADHDをはじめとする発達障害のある、もしくはその疑いのある小中学生の割合は全国平均で6.5%だと聞いている。一宮市の小中学校で発達障害などにより特別な支援の必要な子どもは、おおよそ何人ぐらいいるのか。

A 平均すると、小学校では1クラスに2名程度、中学校では1クラスに1名弱です。

Q 特別な支援の必要な子どもたちへの支援として、市で取り組んでいることは。

A 専門家を講師に迎えて、発達障害に関する教員の研修会を開催するほか、医師

や臨床発達心理士などによる、学校への巡回相談会を開催しております。

Q 学校には特別支援協力員が配置されていると思うが、協力員はどのような支援をしているのか。

A 支援を必要とする子どもの横に付いて教師の指示を再確認したり、クールダウンさせるなどの支援をしたりしています。

Q この特別支援協力員は、市内にどのくらいいるのか。

A 今年度の特別支援協力員は85名であり、小学校42校すべてに配置されています。

島津 令和会

秀典 議員



来訪者の視点で一宮駅と駅周辺を考える

Q 来訪者のため、一宮市の市内案内図を液晶表示のタッチ式パネルとし、主要施設や観光スポットの情報取得が可能な、デジタルサイネージの導入を検討できないか。

A 観光協会や市が設置している市内案内板を更新する際には、最新式の高機能デジタルサイネージの導入を選択肢に加えて、検討したいと思っております。

Q 改札口から観光案内所が非常にわかりにくいので、ユニバーサルデザインの「i」や「?」等のサインを表示できないか。

A 観光案内所に、ピクトグラム表記のサインを設置する方向で検討いたします。

一宮市の情報セキュリティは安全か

Q 一宮市においてインターネットや電子メール等の誤操作により、個人情報が第三者に漏れる事故が起きたことはないか。

A 過去5年間当市において、個人情報の漏えいや市が運営するウェブサイト等で、そのような事故の報告は受けておりません。

Q 個人情報に関係する部局などにおいて、いつ、誰が、どのPCで、どのようなアクセスをしたのか把握することは可能か。

A 住民情報系のシステムは履歴が残るようになっております。他の情報システムでも、アクセスの痕跡が記録されており、これらを解析して調査することが可能です。

竹山 令和会

聡 議員



一宮市のシティプロモーションについて

Q 中野市政では、積極的にシティプロモーションに取り組まれている。選ばれるまちとなることが必要であるが、一宮市の転入・転出状況はどうなっているのか。

A 転入者が転出者を上回る社会増の状況が続いており、総合戦略で取り組んできた子育て世帯への支援が認知されてきたものと推察しております。

Q 一宮市は名古屋駅からJRだと10分と交通の便が良く、家賃も安く住みよいまちだと思うが、市外への情報発信が必要であるが、どのようにされているのか。

A 市の公式ウェブサイトやユーチューブ

ブ・SNS等を活用した広報や、七夕まつりのキャラバン隊の各地への訪問など、観光振興を切り口にしたPRを行っています。

Q 市制施行100周年は対外的にPRする良い機会だが今後どうしていくのか。

A キャッチフレーズやロゴマークを活用し、市内外に100周年をPRします。

Q 一宮市の良さを含めたシティプロモーションの考えを聞きたい。

A 行政がシティプロモーションで力を入れていくべきことは、①文化・芸術・伝統、②農業を含めた自然環境、③新しい技術の3点だと思っています。

立憲民主党 一宮市議会
宇山 祥子 議員



あなたのひと声で安心を！ヘルプマーク

Q ヘルプマークとは2012年に東京都で運用が始まり、義足や人口関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方、聴覚障害、精神障害など援助や配慮を必要としながらも、外見からはわかりにくい障害をお持ちの方々が周囲の方に配慮を必要とすることを知らせる為のストラップであるが、市の窓口での配布方法はどうか。

A 窓口にお越しいただいた際に理由を口頭でお聞きし、配布の趣旨を説明して、1人1枚配布しています。書面での申請は不要、対象者およびその代理人からの口頭の申し出によることとなっています。

Q 教育現場でのヘルプマーク「見えない苦しみ」への理解促進を図る必要があると思うが。

A ヘルプマークは支援を必要としていることを知らせる効果と、それを見た人に支援を促す効果がありますがヘルプカードの意義を市民の方に知っていただき、若年層に対する啓発活動は重要ですので、社会福祉協議会が小中学校で行っている福祉実践教室などを通じて今後も周知に努めたいと思います。



その他の質問項目

・市役所庁内スペースの有効活用化

令和会
井上 文男 議員



災害対策(危機管理)について

Q 連区ごとに防災について協議される地域防災会議を開催していただけないか。

A 開催機運が高まれば、市といたしましても会議の参画のほか、積極的な支援もさせていただきます。

Q 避難所において災害弱者(手話等)対策として、全国市長会など全国規模の組織において相互協力の体制が取れる協定を進めていただけないか。

A 一宮市単独ではなく、西尾張ブロック9市副市長会や県市懇談会で問題提起をし、県に協定を進めるように働きかけます。

Q 本年度全ての指定避難所の受水槽に

給水栓を設置していただいたが、停電した時の夜間の照明はどうなっているか。

A 屋内運動場のLED化が完了している48校のうち、23校は今年度末までに直接給電する配電盤工事を完了します。

障害児保育について

Q 複数の専門職のいる「いずみ学園」の職員体制をさらに手厚くし、自力で歩けなくても、座ってられる状態の子どもであれば預かり対象にできないか。

A 障害のある子どもの成長には、早期療育とその積み重ねが大切であるので検討したいと考えています。

新緑風会
西脇 保廣 議員



台風19号について

Q 幸いにも、一宮市では風による被害も、水による被害もなかった。木曾川、日光川、野府川も警戒水位に至ることはなかったが、この3河川以外で警戒水位に達したところがあったか。

A 市内の河川では、丹陽地区を流れる準用河川の緑葉川(えんばがわ)と新川が警戒水位に達しましたが、その後すぐに水位が低下し、警戒水位以下となりました。

都市計画道路について

Q 昭和31年に都市計画決定がされた富田一宮線、北今地区から西の区間だけが未

整備の状況だが、今後の整備についてどう考えているのか。

A 北今地内から東の東印田町までの区間、終点までの約5.2kmが整備済みで、北今地内の交差点から西の富田地内までの区間、約2.2kmが未施行の状況となっております。整備を行う愛知県に問い合わせたところ、「現在、事業化の見込みは立っていませんが、まずは現在事業着手している路線の整備をしっかりと進める。次に事業化する路線や箇所については、周辺道路の整備状況や交通状況を踏まえたうえで検討していく。」とのことでした。

公明党
河村 弘保 議員



被災時の「FMいちのみや」の役割

Q 一宮市は、FMいちのみやと災害時の放送に関する協定を平成24年10月に締結しているが、どのような内容か。

A 災害時に市は、臨時の緊急放送を依頼します。これを受けFMいちのみやは、市に協力し、災害に関する情報を放送するという内容です。

Q 市の防災訓練などで、災害対策本部から送る文字データを自動で音声に変換し、番組放送中に割り込ませる仕組みや、本庁舎からの緊急放送を試せないか。

A 割り込み放送については、実際の番組放送中のテストについて、協議していると

ころです。本庁舎からの放送については、情報伝達訓練の一部としての実施を研究していきたいと思います。

「こどもの弱視」3歳児健診がカギ

Q 3歳児健診で異常が見逃されると治療が遅れ、十分な視力が得られない場合があると聞いている。わずか数秒で目の異常を検出できる検査機器が注目されているが、導入を検討してはいかがか。

A 早期発見による効果的な治療に繋がるとして、一宮市小児科医会・眼科医会からも要望があり、前向きに検討してまいります。

尾関 愛西会

哲 議員



立地適正化計画と都市計画マスタープランについて

Q 「古くからの集落と河川・水路や農地が共生する地域であることから、地域生活拠点を核とした、のどかで生活利便性が高いまちづくりを進めていきます。」とあるが、下水道が通っていない地域はどうなるのか。単独浄化槽は生活水の一部を川に流すため、川（水）が汚れると思うが。

A 下水道整備区域については、縮小する変更計画案の決定に向け事務を進めています。下水道計画区域外の区域では、個人住宅の単独処理浄化槽または汲み取り便槽を合併処理浄化槽へ転換設置する場合に、

新しく設置する浄化槽の大きさにより約33万円から約55万円の補助金が交付されます。

Q 企業誘致について、国道22号以東がほとんど入っていない。名岐道路については、一宮木曾川ICまでを優先整備区間（案）としており、国道155号線（北尾張中央道）は今後2車線化の予定があり、また名鉄犬山線の布袋駅が高架化され、名古屋のみならず東西の市へのアクセスも良くなるが、それを見越しての誘致はどうか。

A 名岐道路は重要な広域幹線道路と位置づけております。今後の整備促進状況を見ながら、新たな産業拠点としての位置づけを検討してまいります。

水谷 公明党

千恵子 議員



安全・安心なまちづくり

Q 一宮市でも「あおり運転」の事例があった。自己防衛としてドライブレコーダーを取り付ける人も増えている。犬山市では、「あおり運転」の抑止対策としてマグネット式ステッカーを作成している。一宮市としての取り組みはあるか。

A 一宮市でも作成しており平成31年1月に一宮駅前にて配布しました。在庫もわずかとなったのでシール式ステッカーを作成する予定です。今後も啓発活動を通じ「あおり運転」撲滅を呼びかけていきます。

Q 地元の連区で初めて夜間の防災訓練を行った。停電を想定して室内の電気を切

り、しばらくの間、暗さを体感したところ不安が募った。避難所の照明の確保はどうなっているのか。

A 指定避難所となる小・中学校の簡易防災備蓄倉庫に発電機と投光器を備蓄しています。また、屋内運動場のLED化が完了している所から順次、発電機から直接給電できるよう配電盤の工事を実施しています。

Q 夜間時の避難誘導について誘導灯等の必要性を感じたが、考えはどうか。

A 各自宅から避難所までの照明の確保は困難なため、各家庭で懐中電灯を備えていただくよう周知に努めています。

市川 公明党

智明 議員



防災教育・人材育成について

Q 令和2年は東海豪雨から20年の節目を迎える。防災意識啓発のため、七夕まつりなどで過去の災害の記録等を広く市民から募集するなどして展示してはどうか。

A 新たな啓発活動の場や方法を検討するなど、取り組みについてさまざまな視点から検討していきたいと考えています。

Q 名古屋で開催された「ぼうさいこくたい2019」で実施された、体感型防災アトラクション「LIFE LINE II」を七夕まつりなどで開催し、市民の防災意識向上を図ってはどうか。

A どのようなアトラクションなのかを

調査し、七夕まつりなどでの開催の可否について研究したいと思います。

幼児教育・保育について

Q 私立保育園から、無償化により徴収することになった副食費について、集金袋等で保護者から直接集めることになり手間が増えたとの声を聞かすが、これまでの保育料のように、市の方で口座振替などにより徴収することはできないか。

A 副食費の徴収につきましては、国から「施設による徴収」の方針が示されており、各施設の方法で徴収していただいています。

平松 公明党

邦江 議員



介護予防の取り組み

Q 一宮市は、数多くのフレイル予防の取り組みを推進している。来年度から75歳以上の健診で「後期高齢者の質問票」でフレイルチェックを始めると聞いた。今後、市内の集いの場所でフレイルチェックとケアの取り組みはできないか。

A フレイルにつながる介護予防・閉じこもり予防のために専門職を派遣するなどすでに工夫を凝らして取り組んでいます。

Q 認知症サポーターの活動を一歩前進させるため、どのように考えているのか。

A 来年度はサポーターのステップアップ講座を開催できるよう検討しています。

誰も置き去りにしない取り組み

Q 性的マイノリティについて学校教育関係者が研修を受けられた。職員研修や電話相談などはどうするのか。

A 職員研修は実施しており、電話相談は県の窓口を紹介するなどしていきます。

Q ゲートキーパー養成研修会やイベント等で市民の理解を深めてもらいたい。

A 研修内容を講師と相談し、イベント等で啓発してまいります。

Q パートナーシップ制度の制定について市の考えはどうか。

A まず、市民の理解を促進するような啓発活動を推進してまいります。

真風会
鵜飼 和司 議員



一宮市におけるユニバーサルデザインとバリアフリーについて

Q 国では移動等円滑化の促進に関する基本方針を2020年度中に見直すため、鉄道駅1日平均利用者数3,000人未満への目標設定の検討を始めた。妙興寺駅は1日平均の乗降車数が約2,800人、エレベーター設置に向け、鉄道事業者への働きかけはできるか。

A アプローチ方法の検討をしていきたいと考えます。

Q 県道一宮蟹江線について、愛知県が管理する歩道の横に一宮市が管理する水路がある。歩道として一体利用できるか。

A 県と市で、1.5mの歩道を約2.7mに

した場合の管理区分を協議中であり、協議が整い次第、水路改修を実施していきたいと考えております。

Q 「面的・一体的なバリアフリー化」「心のバリアフリー実現」を図っていくため、移動等円滑化促進方針（いわゆるマスタープラン）を策定し、活用していくことが有効な手段の1つと考える。あわせて、バリアフリーマップの作成も効果的と考えるがいかがか。

A 議員ご提案のマスタープランやガイドライン等の策定、並びにバリアフリーマップの作成について、関連する部署と協議を重ねていく中で検討してまいります。

維新一宮市議会
後藤 美由紀 議員



保育士の処遇改善と人員配置について

Q 臨時保育士の割合は全体の4割以上で正規保育士と同じようにクラス担任を受け持つこともある。今後、担任手当や副担任制度など取り入れられないか。

A 国の制度に準じているため、今のところクラス担任手当の新設はありません。また、副担任ではなく、8月よりフリーの非常勤保育士を配置しています。

Q 会計年度任用職員の導入で、臨時保育士の給与は増えるのか。

A 4月から臨時も期末手当の支給が可能となり給与が増加すると見込んでいます。

Q 保育士の負担軽減のため、保育士資

格のない方の活用として、例えば保育士を目指す学生などを延長保育時に活用することはできないか。

A 今後検討を進めていきたいと考えています。

Q 保育士や看護師などを含め、職員の残業時間はどのように管理されているか。

A 時間外勤務命令を受けたくうえで、管理職がその勤務時間や業務内容を確認しています。今後とも適切な管理に努めてまいります。

その他の質問項目

・中核市移行に伴う保健所の設置について

日本共産党一宮市議会
彦坂 和子 議員



子どものインフルエンザ予防接種に補助を

Q インフルエンザ予防接種は有効な予防の手段。子育て世代を応援し、子どもの健康を守るために、市で補助することの検討は可能か。県内で補助をする市町村が広がり、2割が実施している。

A 助成開始については、医師など専門家を交えて十分な検討が必要です。実施すべき定期接種に位置づけられるか、国の動向も注視する必要がありますので、現段階では難しいと考えます。

中核市移行について

Q 将来的に自前の保健所・衛生検査施

設・動物愛護施設を整備しなければいけないが、その検討はいかがか。

A 無償借用期限のある保健所を優先して移行後4～5年を目途に、自前の施設を開設できるよう検討を始めたところです。

Q 中核市移行は市民にとって大きな問題で、移行に対する理解を深めるための説明会・講演会は開催するのか。

A 出前講座などを開催します。多くの方に理解を深めていただくよう、各連区の町会長会議で出前講座の活用をPRします。

その他の質問

・加齢性難聴者に補聴器購入の補助を

自由民主党一宮市議会
伊藤 裕通 議員



一宮市の公園及びちびっ子広場について

Q 市街化区域と市街化調整区域には公園及びちびっ子広場は何箇所あるのか。

A 市が管理している公園は市街化区域内に124箇所、市街化調整区域内に42箇所、ちびっ子広場は市街化区域内に96箇所、市街化調整区域内に203箇所です。

Q 市街化区域には土地区画整理事業により設置された公園が多く、市街化調整区域にはちびっ子広場が多いことが分かる。今後も少子高齢社会が続くなか、子どもの利用が少なくなったちびっ子広場を、高齢者が利用する広場に変更できないものか。

A 地元からの同意があれば、高齢者向

けの広場にする協議を関係部署と行ってまいります。

小・中学校及び保育園と家庭（保護者）との連絡手段について

Q 現在どのようなメールシステムが使われているか。

A 小・中学校では有料、無料など各校で統一されていません。保育園では有料メールで統一しています。

Q 今後、小・中学校と保育園で統一したメールアプリにできないか。

A 小・中学校、保育園、情報推進課と連携し、機能面等の研究を進めます。

議案・請願審議結果

令和元年12月定例会では市長提出議案
42件、請願書3件を審議しました。

ID 1032108

議決結果一覧表

議案番号	件名	付託委員会				議決結果
		総	福	経	建	
認定1	平成30年度愛知県一宮市水道事業会計決算の認定について				●	認定
認定2	平成30年度愛知県一宮市下水道事業会計決算の認定について				●	認定
認定3	平成30年度愛知県一宮市病院事業会計決算の認定について		●			認定
認定4	平成30年度愛知県一宮市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	認定
認定5	平成30年度愛知県一宮市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について			●		認定
認定6	平成30年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		●			認定
認定7	平成30年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について		●			認定
認定8	平成30年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		●			認定
認定9	平成30年度愛知県一宮市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について				●	認定
認定10	平成30年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	●				認定
市長提出37	令和元年度愛知県一宮市一般会計補正予算	●	●	●	●	可決
市長提出38	令和元年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出39	令和元年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出40	令和元年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出41	令和元年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計補正予算	●				可決
市長提出42	令和元年度愛知県一宮市外崎土地区画整理事業特別会計補正予算				●	可決
市長提出43	令和元年度愛知県一宮市病院事業会計補正予算		●			可決
市長提出44	令和元年度愛知県一宮市水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出45	令和元年度愛知県一宮市下水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出46	一宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出47	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出48	一宮市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出49	一宮市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出50	特別職員の給与に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出51	一宮市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出52	一宮市森林環境譲与税基金の設置及び管理に関する条例の制定について				●	可決
市長提出53	一宮市手数料条例等の一部改正について	●	●	●	●	可決
市長提出54	一宮市青少年センター設置条例の一部改正について		●			可決
市長提出55	一宮市公衆便所条例の一部改正について			●		可決
市長提出56	一宮市尾張一宮駅前ビルの設置及び管理に関する条例の一部改正について			●		可決
市長提出57	一宮市地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正について				●	可決
市長提出58	一宮市木曾川文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について			●		可決
市長提出59	一宮市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について		●			可決
市長提出60	一宮市営住宅のうち改良住宅及び単独住宅並びにこれらに付随する共同施設の管理に係る指定管理者の指定について				●	可決
市長提出61	市道路線の認定について				●	可決
市長提出62	平成30年度愛知県一宮市水道事業会計利益の処分について				●	可決
市長提出63	平成30年度愛知県一宮市下水道事業会計利益の処分について				●	可決
同意5	公平委員会委員の選任について					付託省略 同意
同意6	固定資産評価審査委員会委員の選任について					付託省略 同意
諮問3	人権擁護委員の候補者の推薦について					付託省略 同意
諮問4	人権擁護委員の候補者の推薦について					付託省略 同意
諮問5	人権擁護委員の候補者の推薦について					付託省略 同意

総務委員会、福祉健康委員会、経済教育委員会、建設水道委員会の略です。

青く色付けした議案は賛否の分かれた議案です。

一宮市博物館



一宮市博物館は昭和62年に開館しました。国の重要文化財でもある妙興報恩禅寺の勅使門に隣接し、建築家・内井昭蔵氏の設計による、自然景観に調和した、落ち着いたある斬新な建築が特徴です。

市内で発掘された土器などの様々な資料から一宮市の歴史が学べる博物館です。

入口付近には喫茶スペースがあり、ゆったり過ごすことができます。



あやなすまち一宮 ひとひとひともよう

博物館1階受付右上上の曲面壁いっばいに、洋画界の第一人者である絹谷幸二先生が一宮のまちと人々の様子を描いた「あやなすまち一宮 ひとひとひともよう」のアフレスコ画があります。2階には土器パズルなど自由に遊べるスペースがあり、週末には機織り・糸つむぎなど無料で体験できます。



無料体験コーナー

毎年一宮市では全小学校3年生対象に社会科の授業として博物館を見学します。これを機にご家族でも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



土器の立体パズル

次回3月定例会の日程(予定) ID 1005106

日程は変更になることがあります。

本会議	
2月28日(金)	開会・議案上程
3月 5日(木)	一般質問
3月 6日(金)	一般質問
3月 9日(月)	一般質問
3月24日(火)	討論・採決・閉会

- 開議時刻……午前9時30分
- 傍聴場所……本庁舎14階 議場傍聴席

常任委員会	
3月11日(水)	総務委員会
3月12日(木)	福祉健康委員会
3月13日(金)	経済教育委員会
3月16日(月)	建設水道委員会

- 開議時刻……午前9時30分
- 傍聴受付場所……本庁舎12階 議会事務局
- 傍聴受付開始時刻……午前9時(定員10名)

編集後記

2019年は元号が平成から令和にかわり、一宮市議会も改選があるなど様々な変化があった一年となりました。議会だより編集委員会もフレッシュな顔ぶれの参入で、紙面作りにも変化が表れています。編集委員が代わっても市民の皆様にはわかりやすく、発行を待ち望んでいただけるような紙面づくりに努めてまいります。令和2年も引き続きご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

議会だより編集委員会

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 委員長 渡部 晃久 | 副委員長 鵜飼 和司 | |
| 委員 島津 秀典 | 大津 乃里予 | 市川 智明 |
| 小林 けいめい | 尾関 哲 | 後藤 美由紀 |

議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト(ホームページ)からご覧いただけます。 ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター いちみん